

1月の野菜の見通し

令和3年12月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,597	平年 並み	11,068	90	89%	101	2.1	0.0%	千葉・神奈川産は作付・生育とも順調に推移して十分な出回りとなる見込み。全体量は前年・平年並みで、見通し単価は前年・平年を下回る。
はくさい	15,004	やや 多い	14,083	37	95%	75	1.3	0.0%	茨城産は生育順調。全体量は多かった前年並みで平年を上回る予想。価格は12月末に持ち上がるも、年が明けて入荷が平常に戻れば数量潤沢となり相場は弱含みとなる気配。見通し単価は安かった前年並み、平年比では半値の水準。
キャベツ	12,887	やや 多い	13,537	99	71%	114	1.3	0.0%	愛知・千葉・神奈川産、各地生育順調。全体量は少なかった前年を若干上回り平年並みの予想。価格は12月末に上昇し、年明けはただらとした展開で保合い推移か。見通し単価は前年・平年を大幅に下回る。
ほうれん そう	1,409	平年 並み	1,415	610	90%	589	1.5	0.1%	茨城産は小松菜・水菜からほうれん草へ作付を変えた向きがあり、他産地含めた全体量は前年・平年並み～やや上回る予想。露地作は気温低下により減少すれど、ハウス作中心の出回りで数量は十分にある見込み。12月下旬に高まった価格から徐々に下落する例年どおりの展開に。見通し単価は前年を1割下回り、平年を若干下回る。
ねぎ	4,576	平年 並み	4,995	422	66%	329	28.0	0.6%	千葉・埼玉・茨城産を中心に生育は概ね順調。全体量は少なかった前年を上回り平年並みの予想。数量は十分にある見込みで、12月下旬に高まった価格から下落していく例年通りの展開に。見通し単価は高かった前年を大幅に下回り、平年を1割以上下回る。

1月の野菜の見通し

令和3年12月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	4,711	やや 多い	4,591	389	98%	462	-	-	宮崎・高知・千葉産を中心に生育は概ね順調。全体量は前年比微減も平年並み。12月下旬に相場上昇するも、年始は滞荷により下落する例年通りの展開に。1月末は恵方巻需要から幾分か引合いが出る予想。見通し単価は前年並みも平年を1割以上、下回る。
トマト	5,937	平年 並み	5,573	299	110%	354	1.0	0.0%	熊本産はこれまでは寒暖差からの裂果が多かったが加温により回復傾向に。ただ、黄化葉巻病は散見されるので増量しても長くは続かずか。他産地の生育は概ね順調。全体量は多かった前年を下回り平年並みの予想。見通し単価は安かった前年を上回るも平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)